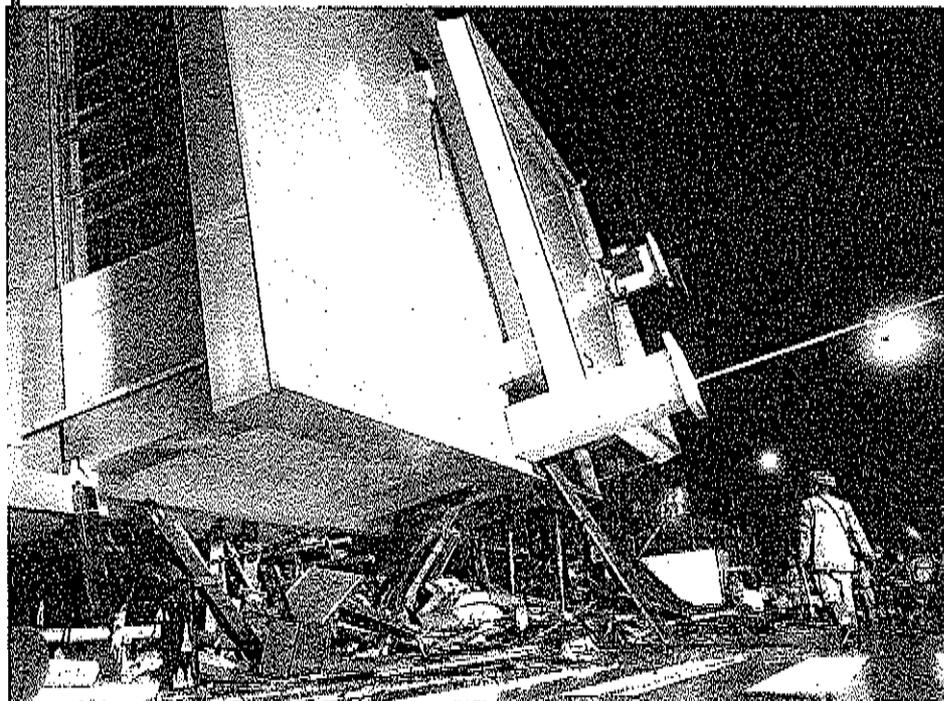


能登地震 死者73人

石川県能登地方を震源として同県志賀町で震度7を観測した能登半島地震は3日、県の集計によれば死者が73人となった。地震での建物倒壊などによる直接死は既に2016年の熊本地震(計90人)を控え、1995年の阪神大震災以降も番目が多い。生存者が大幅に下がることとされる発生時間帯が4日午後に入り、救いの絶望的な地震の中で各自自治体が住民の安全確保を進めた。珠洲市や輪島市などでは建物の倒壊も多く救助が遅れ、被害の全容は見えない。■関連①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩



取り戻された人の救助活動が続くビルの倒壊現場＝3日午後5時18分、石川県輪島市河井町で(野村和彦撮影)

倒壊多数 道路寸断 全容見えず

林正樹副市長は記者会見で、交通の寸断や道路陥没により状況把握が難しくなった指摘。「被害の把握や支援に努める」と述べた。被災地の一部には大雨警報が出され、気象庁は土砂災害に警戒を呼びかけた。

土砂災害、県内も厳戒

能登半島地震で震度5強を観測したあわら市で3日までに、建物倒壊などの新たな被害が確認された。福井県内は4日にかけて強半雨が降り、福井地方気象台は地盤の緩みによる土砂災害への警戒を促している。

県などによると、穴水町で6人が行方不明。道路の陥没やのり面の崩落などにより、珠洲市、七尾市、穴水町、能登町で計約750人が孤立し、輪島市は調査中という。各地で生き埋めが発生したとの情報もあり、消防隊では建物被覆があったとみられる。県内の避難者は約3万3千人。政府によると、200軒以上の建物倒壊があった。

県警は3日、穴水町で6人が行方不明。道路の陥没やのり面の崩落などにより、珠洲市、七尾市、穴水町、能登町で計約750人が孤立し、輪島市は調査中という。各地で生き埋めが発生したとの情報もあり、消防隊では建物被覆があったとみられる。県内の避難者は約3万3千人。政府によると、200軒以上の建物倒壊があった。

同気象台によると、圧力の谷や低気圧の影響で、県内は4日朝にかけて強半雨が降り、福井地方気象台は地盤の緩みによる土砂災害への警戒を促している。

県内は3日午後余震が続き、最大震度2(前日午後9時半現在)を観測した。あわら市内の複数の住居で一部倒壊が見られた。同市は福井、北越、福島の3地区を中心に詳しい被害状況を調査している。1日の地震発生後、市内の最大90センチほど発生していた断水は2日のうちに解消された。

倒壊家屋で3日、80代男性が地震発生から2日ぶりに救出された。命に別条はないという。72時間近く中、警察は「生存者はまだいる」としている。

坂口茂・輪島市長は取材に「孤立集落が多い」と話し、道路やライフラインの復旧と支援物資の運搬が急務と訴えた。各自自治体も十分な支援物資の供給を政府や県に求めており、陸路だけでなく、空路や海路も活用して食料や人員の搬送が進められた。

政府は3日、非常災害対策本部を立ち上げ、被災地への支援を進めた。

1日の震度7はマグニチュード(M)7.6で、能登地方を震源とした地震としては記録が残る1985年以降で最大。3日も震度5強を観測するなど、揺れが続いた。

直接死は阪神大震災で約5500人、2011年の東日本大震災では約1万8千人だった。

(玉田健成)

迫る72時間救助阻む揺れ

石川県内の被災地では、生存率が下がるとされる「発生後72時間」が迫る。

雨が降る中、輪島市中心部では、漆器製造「五島屋」の7階建てビルが横倒しになった現場で、隣にあり、ビルの下敷きになった飲食店「わじまんま」に取り残され

た人の救助作業が続いた。

大阪府から救援にきた消防隊員らが建物の木材を撤去しながら内部に入った。消防の担当者によると、女性が一人生死されており、姿は見えないが応答がないという。

午前11時には大きな地震があり、倒れたビルに突っ張ってあった鉄パイプ状の救助機材が折れ、内部にいた隊員らは外に飛び出した。ビルも激しく揺らぎ、現場に緊張感が走った。家族とみられる男性が「ああ」と声を上げ天をおおい

激しく揺れ、同様の状況になった。

近隣の男性(66)は「下敷きになった店はおいしい地魚を出してくれて、お店の人がいい人ばかりだった」と話し、作業の推移を見つめた。夜になっても救助活動は続き、消防隊員ら

は補食をとりながら作業に当たった。

石川県珠洲市でも、多数の人が生き埋めになるとみられる。市によると、救助を終えていないのは、3日午前9時現在、72件に上る。(日暮大輔、森健人、城石愛麻)

午前11時には大きな地震があり、倒れたビルに突っ張ってあった鉄パイプ状の救助機材が折れ、内部にいた隊員らは外に飛び出した。ビルも激しく揺らぎ、現場に緊張感が走った。家族とみられる男性が「ああ」と声を上げ天をおおい